

平成25年度第1回さぬき市社会教育委員の会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成25年 5月14日（火） 18:00～20:00
- 2 場 所 さぬき市津田支所 2階第5・6会議室
- 3 出席者 **【委員】** 石原新造 岩田憲治 寒川 巧 杉山道代 谷 幸夫
遠山良子 宮本 強 三好成其 吉本嘉夫
【事務局】 安藤正倫 中野敏記 頼富博幸
- 欠席者 な し
- 傍聴者 0 名
- 4 議 題 議題1 さぬき市生涯学習基本計画の策定について
議題2 その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意 見 概 要
(事務局)	<p>ただ今から平成25年度第1回さぬき市社会教育委員の会を開催します。本日は、委員9名全員のご出席をいただいております。開会にあたりまして、さぬき市教育委員会安藤教育長よりご挨拶を申し上げます。</p>
(教育長)	<p>(教育長あいさつ)</p>
(事務局)	<p>議事に移ります前に、今年度、委員さんの異動があり、さぬき市社会教育委員の野崎恭一委員さんから、吉本嘉夫委員さんに代わられています。4月1日付けなので遅くなりましたが、ここで「さぬき市社会教育委員」の委嘱状の交付を行います。</p> <p>【委嘱状交付】</p> <p>また、事務局にも異動があり、担当者の植村に代わりまして頼富が配属されたのでよろしくお願ひします。</p> <p>それでは、本日の議題に入りたいと思います。</p> <p>お手元にお配りしてございます会議の次第にそつて、会を進めてまいりたいと思います。</p>
【議題1】	<p>『議題1 さぬき市生涯学習基本計画の策定について』でございます。</p> <p>この件につきまして、お手元に配布してあります資料で【さぬき市生涯学習基本計画】が平成21年3月に策定されております。その資料の3ページ「4計画の期間」のところをお開きください。『本計画の期間は、平成21年度から平成25年度までの5年間とし、5年間経過後に社会変化等、時代のニーズに合わせて見直すもの』とあります。本年度は、基本計画の最終年度であると同時に次期計画の調整年度でもありますので、年度当初から委員会を開催致した次第であります。今後の計画策定等について、担当者より説明を致します。</p> <p>計画の策定につきましては、先ほど教育長及び課長の方からのお話にもありましたが、今年度が計画の見直し若しくは変更の時期にあたります。</p> <p>計画立案は、社会教育委員の職務であり、多大なご協力をいただかなければと思</p>

い今年度早々に会を開催したものであります。

計画の策定についての手順でございますが、生涯学習基本計画の最終ページをお開きください。そこに現在の基本計画の策定に至った経過が記載されております。当初計画については、約5年の月日をかけ策定されておりますが、今回策定しようとするものにつきましては、本年2月に策定されました「さぬき市教育振興基本計画」により大まかな流れができておりますので、今年1年で策定してまいりたいと思います。

また、前回の策定におきまして社会教育施設利用者から住民ニーズのアンケート調査を行い、策定しているところであります。今回の見直し若しくは計画の変更につきまして、同様のアンケート調査を実施するのかどうかにつきましても、お諮りいただけたらと存じます。

まず基本計画の策定に当たり、今回配布しております資料のうち平成20年に出された中央教育審議会の答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～」の36ページ以降に生涯学習、生涯教育及び社会教育の定義について記載されておりますので、ご確認頂くとともにご活用ください。

また、教育長のお話にもありました人口形態・人口異動の変化など少子高齢化が進んでいる中なのでそれに見合った計画に直していくのか等様々な諸問題がございます。

お手元の資料の中で、簡単なスケジュール表を作成しております。今年度の3月には、基本計画の印刷・製本及び配布を致したいと存じますので、それまでにアンケート調査の実施方法や、策定全般に係る案をご討議願いますようご提案させていただきますので、ご審議の方よろしくお願ひします。

説明が終わりました。ご意見ご質問などありましたら、どなたからでも願ひします。

(委員) 今回の提案は、平成26年度からの5ヶ年の計画についてであって、今年度についての見直しといったのでは無いと理解して良いのですね。また、24年度までに完成しているものについては、完成したということで良いのですね。

(事務局) はい。今年度については、現在の基本計画に則って行っておりますので、次年度以降の計画についてご検討願いたいということです。

(委員) 先程の説明で、言葉の定義として「生涯学習」と「社会教育」とがりましたが、今回策定するのは、生涯学習基本計画であって、社会教育の基本計画ではないのですね。

(事務局) 昔、戦後になりますとその時分には全て社会教育と言っておったのです。その当時の各市町村の教育委員会の中にも、社会教育課というものがあり、その後平成5年ぐらいに、文部省（現：文部科学省）が構造改革を行い、学校教育と、社会教育

の理念的なものから考えると生涯の学習を行うものとして、生涯学習という大きな枠組みとして社会教育を包んだものであります。生涯学習の理念のもとに学校教育や社会教育もあるわけです。

現在の生涯学習基本計画につきましては、全てを含んだ、全ての人が生涯学習という理念のもとに生活するための基本計画であります。それが、25年度に一応の終わりを迎えるので、今後のために見直し若しくは作り直すということを提案するものです。

(委員) さぬき市の基本計画は、今年度作成していくということですが、中央教育審議会から出されている答申は何年間として策定されているのでしょうか。今後このままなののでしょうか。

(事務局) 生涯学習に関する答申としまして古いものでは、昭和56年に出されており、その後平成2年に生涯学習の見直しのものとして答申がなされました。一番新しいもので、平成20年にお配りしてあります答申が出されています。今後につきましては、文部科学省からの諮問があった時点で答申がなされるものであります。

(委員) 先程の説明の中で、アンケート調査を実施するかどうかということでしたが、時代や住民ニーズの変化もあるのでアンケート調査は実施した方がよいと思います。

(委員) 現在の基本計画を作成した基となったものは、(基本計画の中の)資料編にあるアンケートなののでしょうか。

(事務局) 様々な基本計画を策定するとき、それに伴いアンケート等を徴収して作成していくのですが、調査を行った折に『こういった意見が大半を占めるのでそちらの方にすべきなのは』という、一つの方向性を示すものであって、構成については国及び県の指針や他市等で作成されている計画の構成等を参考及び考慮して作成していくものです。アンケート結果が全て計画に直結するというものではありません。

(委員) 基本的な骨組みというものはあって、その骨組みに肉付けするもので、アンケートがその一部というものとして取り入れて行うということなのですね。

(委員) さぬき市となって10年経ちますが、その中で教育がすごく変わってきました。子どもの数が減って、高齢者の年齢層も高くなり、生涯学習時代の中で学習に参画する人数も減ってきている。また、各町のイベント特に文化祭に出品出展及び出演する人数も減ってきている。しかしながら、そこに集い学ぶ人たちは自己の研鑽のために行っているわけでありまして。そこでさぬき市の社会教育、時代のニーズに合った生涯学習というものは続けていけているのか。国の指針に沿って計画を作成するより、さぬき市が自信自慢を持って市民に提供できる生涯学習・社会教育が展開しているかどうかを踏まえて、基本計画を見直す必要があるかどうかを考えていかなければならない。

	<p>例えば、多くの社会教育施設が有効利用されているか。社会教育関係団体の役員の方々が、団体を統括先導できているのかを踏まえてこそ、基本計画や振興計画が生かされるものであると考えます。</p> <p>(委員) 生涯学習という概念が生まれたのは、高度成長期であり、時間的にも経済的にもゆとりができてきた頃であり、子どもも多く元気な成人が活動しやすい時期であったという中で、急速な科学の進歩等が出てきて、それまでの学校教育、社会教育や家庭教育といった枠組みを取り崩した構造にすべきとしてできたかと思います。そういった時期から考えて、さぬき市の人口形態も変わってきている。高齢者を若い人たちで支えていくためにとか、子どもをどうしていくとか、南海トラフによる災害等などにも知恵を絞って考えていかなければならない時期に来ております。当然社会教育などの教育委員会部局だけでなく市長部局の方でも考えているとは思いますが、一体となって基本計画を新しく作り変えていくという気持ちを持って臨まなければならないと思います。</p> <p>(委員) 作成の仕方についてですが、現在の計画についての総括が必要だと思います。従来のプランに対して整理して次のプランにフィードバックするという方が良いと思います。</p> <p>2点目に、先の計画策定期間から時代の変化及び住民ニーズの変化は当然あって然るべきものと思われるので、住民に対してアンケートを取ることは必要かと思います。ただ、アンケートを取って終わるのではなく、アンケート結果を分析して計画に反映することが必要かと思います。</p> <p>今度の計画にはP（プラン）D（ドゥ）C（チェック）A（アクション）が出来るような計画を作ることが必要だと思います。今回の計画についても評価ができるようなものにはなっていないのではと思うので、定量化、数値化できるようなものであった方が評価しやすいと思います。</p> <p>また、今度の計画の中には、安全安心といった内容を載せるべきなのではと思います。</p> <p>地震や津波などの災害や、交通安全といった住民の暮らしに密接にかかわっていることについても生涯学習の中に入ってくるのではと思います。</p> <p>あと、ITの推進も入ってくるのではと思います。さぬき市も今後高速IT化していくことなので、IT技術を活用した教育というのも大事なのではと思います。</p> <p>(委員) 今言われた評価を行うことは大事なことですが、評価ができるのは5年間の計画が終わった26年度以降に出来るのであって、今年度中に評価はできないのではと思います。</p> <p>(事務局) 事務局として総括は必要だと思います。ただし、25年度については、予算化はしてありますので今年度の評価総括については、その予算化を持って評価するということにはしたいと思います。</p>
--	---

(委員)	<p>東北大震災以降、地域のつながりコミュニティの大事さが言われております。安全安心のまちづくりは、コミュニティ社会の中でそれぞれが学習することが大事であり、地域の中で行う学習または、個人が自発的に行う学習など形態は様々ですが、それらの全てが生涯学習につながるものだと思います。地域の方々が手を組み、繋がりを持って防災意識を高めることも生涯学習の一つだと思います。文化財を守ることにしても、常日頃から学習をしていないと、いざという時にどうやって災害から守るのかということにもつながっていくことだと思います。各種団体が年に何回か横のつながりを持って議論していくことも必要であり、そういった人と人とのコミュニティが時代の中で生涯学習として大事だということです。</p>
(委員)	<p>各種団体の中でも、高齢化していつているわけですが、その中でも活動しやすい環境づくりも必要です。趣味・娯楽・スポーツというものは、民間業者でも行っており個人がお金を出して学んでいるのも現実ですが、反対に防災、環境や人権などは行政主導で基本計画に基づいて示していかなければ、なかなか学ぶ機会というものはないのではと思います。</p> <p>先の計画には全庁的に取り組まれておるのですが、各課とも次の計画について考えていければと思います。</p>
(委員)	<p>地域の中で、高齢化が進み若い世代が少なくなっている現状について、生涯学習がどう取り組まれていくのかということも問題だと思います。また、移住者にとってこの町は生涯学習が発達していてとても住みよい町だと思えたら、また移住者も増えていくのではと思います。</p>
(委員)	<p>少子高齢化というのは全国的なものであり、どこの市や町でもそこに焦点を当てた政策というものを行っているのであります。さぬき市においても少子高齢社会だから尚更生涯学習が大事なのです。学習活動、文化活動そういったもので人は結ばれていくのだと思いますので、生涯学習基本計画の見直しは大事になってくると思います。</p>
(委員)	<p>21年度に作成した現在の基本計画を敲き台として、少子高齢化や地域コミュニティ、安全安心な暮らしといったものや住民ニーズを取り入れたもので、肉付けしていくということを今から行っていないと、26年度には間に合いかねると思います。</p> <p>以前の計画の時には、業者に委託していたのだが今回についてどのように策定していくおつもりですか。</p>
(事務局)	<p>基本方針としまして、中央教育審議会、さぬき市教育振興基本計画及び前回の生涯学習基本計画を敲き台としまして、その上に住民アンケートや近隣市町の生涯学習計画などを参考にして策定してまいりたいところです。</p>
(委員)	<p>以前計画を作成した時に、業者といろいろな軋轢や衝突があったので、できれば</p>

	行政主導で作成していけたらいいのかなと思います。
(委員)	今日全体の流れをみると、基本計画を見直そうという話になっていますが、その方針で進めて良いのですか。
(事務局)	見直し若しくは作成しなおすのか、または、このままの計画の状態で行くのかは委員の皆様の意見を聞いたうえで、その後決を採りたいと考えます。
(委員)	<p>社会教育施設及び体育施設について、施設使用料が有料となっても使用者は減っていないと思う。その中で生まれてきたのが自主運営というものである。自主運営の中で清掃や美化環境づくりなどを行っている。昔は、地域の中で高齢者や先人たちの知恵や教えによってなされていたものが、現在では皆無であろう。</p> <p>これからの社会は、公民館等のグループによりそれぞれの人たちが寄り添いあって、生涯学習を高めていくものではないか。アンケート調査についても、社会教育施設等を利用している方達に対してのみ行うのではなく、個人で学習をしている方々をどのようにして社会教育施設を利用しているグループに参加させられるかというのも大事なところである。社会教育施設を利用していない方々が、さぬき市の生涯学習にどれぐらい興味を持っているか、または、参加意欲があるかという調査が今後基本計画を策定していく根本になるのではと思います。さぬき市の人口数もアンバランスなところがあり、家庭教育の指導者が、婦人会等のリーダーとして、その後老人クラブのリーダーとして地域やコミュニティの中で活躍している。そうした中で生涯学習を推進していくことは、地域の組織化やコミュニティを大事にした生涯学習基本計画であってほしいと思います。</p>
(委員)	先程の事務局の話の中で、事務局としてアンケート調査や様々な議論をまとめ計画を策定していくと言っておりましたが、これだけの計画書を現在の生涯学習課の陣容で作成するのは難しいのではないのでしょうか。
(事務局)	<p>お手元にお配りしているさぬき市生涯学習基本計画の8ページをお開きください。その中に「施策の体系」というものがあります。</p> <p>それと、さぬき市教育振興基本計画の4ページをお開きください。そこに「さぬき市の教育の基本的な考え方」というものがあります。</p> <p>生涯学習基本計画では「基本目標」とし、教育振興基本計画には「基本方針」とあり、それぞれ4項目記載してあります。その項目の内容として生涯学習では、「具体的事業」教育振興計画では、「主要施策」として載せてあります。</p> <p>生涯学習基本計画を策定してから4年後に教育振興基本計画が出来たので、「具体的事業」と「主要施策」のそれぞれの数も時代の流れとともに変化してあります。</p> <p>そうした中で、社会教育委員の皆様をお願いしたいことは、先ほど述べられていたことを、例えば「まちづくり」や「防災計画」といったものをどこの項目に当てはめたら良いか、または、それを考えるのかということになります。</p> <p>火災や交通安全というものを防災として一まとめにするのか、また、今の時代に</p>

マッチしているのかいないのか等、そういった枝分かれの仕方を考えていただきたいのであります。そうした項目づくりが出来たなら、その内容にあったアンケートを徴収するか、また調査しようとかになってきます。

基本計画とか基本方針については細部にわたっては触れずに、方向性をお示しするようになってきます。項目をご検討いただいて、このことは謳っていかうとか、ここは時代に合っていないので削除しようというようになろうかと思えます。

また、この生涯学習基本計画の中で作成してある項目は、各担当課が作成してあり、今後5年後を見越して各担当課がどのようにしていこうかということも作成してまいります。先の基本計画をコンサルタントに依頼したのは、基本となる構想部分をお願いしたのであります。現在は、ある程度の形があって大部分が出来上がっておりますので、添削については、事務局で対応可能なのではないかと考えています。

つきましては、さぬき市教育振興基本計画の各項目とさぬき市生涯学習基本計画の各項目を比較していただいて、新しいさぬき市生涯学習基本計画にマッチしているかということをご検討頂きたいのです。

(委員) 現在の生涯学習基本計画について、過去4年間分については評価すべきものであり、今年度分については、予算化されているものについては、相応の評価をすべきものと考えています。ただ、今後の計画策定に関しては、以前に作成されてから4年過ぎているものなので、かなりの変化が見受けられるのでその部分については、やり替えていければ良いと思います。また、現在の住民の皆さんがどの様に生涯学習についてお考えなのかということ、確認を取って、時代に沿ったものに見直ししていければいいのかなと感じています。

(委員) 現在の社会教育委員の会の実施状況では、年に1・2回の開催であるので、本当に良いものを作るというのであれば、数回集まって会議をすべきと考えます。

(委員) 4年前に作成に携わったが、その時には「安全安心のまちづくり」とか少子高齢化というワードも会議に挙がっていませんでした。

さぬき市として「魅力あるまちづくり」ということも含めた計画にしていければいいと思います。それに伴い人口減少の一役にでもなれればと感じます。

(委員) 先程の事務局が説明したとおりに、計画を策定していくために審議していくのが重要と思います。そのために策定のスケジュールを作っていただきたいのです。

(事務局) 皆様の意見をいただいたところで、この生涯学習基本計画については、社会変化及び時代のニーズ併せて当初計画の5年間が経過したので、敲き台を基に見直すということよろしいでしょうか。

(委員) <賛成の意>

<p>(事務局)</p> <p>【議題2】</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p>	<p>現在の計画を総括し、様々に変化したことも盛り込みながら、また、アンケート調査については、今後社会教育施設を利用したいと考える方も対象として、また、機会を伺う方を掘り起こすようなアンケート調査とする等、内容や対象者について今後提起していきたいと考えます。</p> <p>スケジュール作成については、現在の案としまして8月下旬から9月下旬にかけて住民に対してアンケート調査を行いたく存じます。</p> <p>その事前作業として、アンケート調査内容及び対象者等について6月中旬頃から下旬にかけて案を作成しつつ、7月上旬に第2回社会教育委員の会で諮りたいと考えます。その上で、8月中旬に対象住民に発送し10月下旬頃までに回収し、その後分析に係りたく存じます。</p> <p>内容の項目づくりについては、10月の初旬頃に第3回社会教育委員の会を開催して、関係各課での総括及び今後の方向性等を踏まえて肉付けして参りたく存じます。</p> <p>また、年末年始頃には、アンケート結果及び分析も出来上がりますので、それらを踏まえた計画づくりとして第4回目の社会教育委員の会をと考えます。</p> <p>2月上旬に第5回目の社会教育委員の会を開催し、その後の教育委員会定例会に対して「さぬき市生涯学習基本計画－第Ⅱ次－」(仮称)として提案できるよう最終調整を諮りたく存じます。そして3月に印刷・製本・配布の手順となろうかと考えます。</p> <p>このスケジュール案については後日、さぬき市教育振興基本計画及びさぬき市生涯学習基本計画の基本方針、基本項目の対比表とともに送付したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>今回、委員の皆様をお願いすることは、生涯学習基本計画との項目についての見直しと、組み換えについて早々に担当までご提案いただけたらと思います。また、構想という骨組みについてもご審議いただきたく存じます。</p> <p>議題2のその他につきましては、特段事務局としてご提案用件はございません。委員の皆様で何かご意見等ございましたらよろしくご意見致します。</p> <p>なし</p> <p>なければ、本日予定しておりました議題については、終了しました。</p> <p>以上をもちまして、平成25年度第1回さぬき市社会教育委員の会を閉会させていただきます。</p> <p>本日は、長い間ご審議賜りましてありがとうございます。</p>
<p>閉会</p>	